

## 2012 年度通訳案内士試験

### <合格体験記>

#### まえがき

本書は、2012 年度通訳案内士試験に見事合格された合格者の皆様からお寄せいただきました<合格体験記>集です。

通訳案内士試験受験者にとっては、学習する上での貴重な<羅針盤>となるものですから、受験準備のスタート時だけではなく、勉強方法に疑問を抱いた時とか、スランプに陥った時など、受験勉強の様々な局面においても、本書を読むことにより、必ず、良き指針を得ることができると確信いたします。

お忙しいところ、後進のために、<合格体験記>を執筆していただきました多くの合格者の皆様に、この場をかりまして、深く感謝申し上げます。

本書が、通訳案内士試験合格の一助になれば、これにまさる喜びはございません。

ハロー通訳アカデミー  
植山源一郎

## 目次

英語	2
中国語	38
韓国語	40
スペイン語	41
フランス語	44
ドイツ語	45
ポルトガル語	46

## ●＜英語・福岡・メルマガ読者＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

九州新幹線開通に伴い、鹿児島を訪れる外国人観光客は増加傾向にあります。外国人観光客の方々が、鹿児島と日本国内に良い思い出を作ってほしいとの思いから、受験を決意しました。

### (2)第1次試験対策

①外国語試験→英検1級を取得していたため不要でした。②地理→ハローの第1次邦文試験対策を毎日1回分解きました。③歴史→歴史能力検定2級を取得し、免除としました。④一般常識→ハローの第1次邦文試験対策を毎日1回分解きました。

### (3)第2次試験対策

ハローの「日本の事象英文説明 300 選」を購入しました。それから、各事象を自分なりの英文にして3回ほど音読しました。

### (4)ハローについて

ハローなしでは合格できなかったと思います。逆にハローのみでしっかり学べば合格できる試験だと思います。私の場合、ハローの以下が特に有効でした。

- ①第1次邦文試験対策
- ②「日本の事象英文説明 300 選」
- ③YouTube による植山先生の面接試験対策講座

### (1)2012年度通訳案内士試験＜第2次口述試験対策特別講習会＞(その1)(約32分間)

<http://youtu.be/95FoOE3AAEw>

### (2)2012年度通訳案内士試験＜第2次口述試験対策特別講習会＞(その2)(約18分間)

[http://youtu.be/\\_E3ljR4mMwE](http://youtu.be/_E3ljR4mMwE)

### (3)2012年度通訳案内士試験＜第2次口述試験対策特別講習会＞(その3)(約32分間)

<http://youtu.be/QbTr54uynd0>

### (4)2012年度通訳案内士試験＜第2次口述試験対策特別講習会＞(その4)(約27分間)

<http://youtu.be/3ypNjXsYXg>

### (5)2012年度通訳案内士試験＜第2次口述試験対策特別講習会＞(その5)(約32分間)

<http://youtu.be/sF2HSSXSE1o>

### (6)2012年度通訳案内士試験＜第2次口述試験対策特別講習会＞(その6)(約14分間)

<http://youtu.be/g-fqrkfxuo>

### (7)2012年度通訳案内士試験＜第2次口述試験対策特別講習会＞(その7)(約24分間)

<http://youtu.be/1dviTHYfUaw>

これらの素晴らしい教材を無償で配布されている先生の寛大さに、心より感謝しております。

### (5)今後の抱負

中国語検定準1級、ハングル検定3級を取得しています。今年は韓国語で通訳案内士試験を受験します。

## ●＜英語・東京・旧通信生＞

### (1)はじめに

私が、通訳案内士という仕事を知ったのはまだ学生の頃でした。NHK のラジオ英会話のテキストで見たように記憶しております。

英語が好きで、将来英語を使える仕事をしたいなど考えていたので直ぐにハローさんに資料請求させていただきましたが、なんだか私には難しそうとあきらめてしまいました。そのうち就職、結婚、子育てと、あれよあれよと20年近くの年月がたちました。

主人の仕事の関係で、海外で生活することになり、毎日の生活で英語が欠かせなくなりました。

ある日、子供の学校(インターナショナルスクール)で日本の紹介をしてほしいと頼まれて、改めて日本人でありながら、日本のことをどう説明すればよいのかよくわかっていないということに気が付きました。又、日本に興味を持って下さる方もたくさんいらっしゃって、もっと私の英語がきちんとしていたら、もっときちんと説明できたのにと毎日歯がゆく思っておりました。

そんなことから世界中の方に日本の素敵などを沢山みていただき、好きになっていただきたいなと思ってガイドになる勉強を始めました。

### (2)第一次試験対策

ハローさんでいただいた教科書を隅から隅まで授業のCDを聞きながら4回繰り返しました。間違ったところはチェックしておいて次の日そして週末にも再度トライしました。英作文も書いて口に出してそして覚えました。単語も「日本的事象英文説明300選」も同様にCDを聞き、毎日数を決めて覚えました。最初は5個ずつ、2回目は10個ずつというように。その他の教材は一切使っていません。私にとってはハローさんの教材がベストでした。

### (3)第二次試験対策

ハローさんの二次対策のテキストで勉強しました。教材の質問を一つずつノートに貼ってその下に自分なりの英文で説明を書き、後で付けくわえたり、修正したりできるように見開き2ページ分のルーズリーフを1つの質問に使い、政治なら政治、観光なら観光という風に見出しをつけて單元ごとに並べました。最終的に今までいろいろ修正した中でベストの英文を質問ごとに書きなおし、すらすら言えるように用意しました。

### (4)ハローについて

今回初めて二次対策までしっかり勉強させていただきましたが、そこで初めてハローさんの教材は本当に無駄なく最小の努力で最大の効果が出る事を実感しました。1次のテキストで使った英文がそのまま2次でも使えるなど本当に助かりました。ハローさんが無くなってしまい、これからどうやって勉強を続けたら良いのかと思っておりましたが、植山先生の細やかな御指導を今なおいただけて本当にありがたく思っております。一次試験の時も試験開始の直前まで単語の練習をし、二次試験の時も先生に作っていただいた直前見直しリストを片手に心の中でブツブツやっておりました。おかげさまでドキドキする暇もなく試験に臨めた様に思います。本当にありがとうございます。

## (5)今後の抱負

まだまだ勉強が足りないと思いますので、次は英検 1 級取得に向けて頑張っていきたいと思いません。後 1 年徹底的に英語の勉強をしてそれからガイドとして働きたいと思いません。

(ご参考)2011 年度<2次試験レポート>(全 35 本)

(1)フランス語<2次試験レポート>(全8本)

[http://hello.ac/guide/2012\\_2ji\\_siryo/2011french.pdf](http://hello.ac/guide/2012_2ji_siryo/2011french.pdf)

(2)ドイツ語<2次試験レポート>(全3本)

[http://hello.ac/guide/2012\\_2ji\\_siryo/2011german.pdf](http://hello.ac/guide/2012_2ji_siryo/2011german.pdf)

(3)スペイン語<2次試験レポート>(全8本)

[http://hello.ac/guide/2012\\_2ji\\_siryo/2011spanish.pdf](http://hello.ac/guide/2012_2ji_siryo/2011spanish.pdf)

(4)イタリア語<2次試験レポート>(全3本)

[http://hello.ac/guide/2012\\_2ji\\_siryo/2011italian.pdf](http://hello.ac/guide/2012_2ji_siryo/2011italian.pdf)

(5)ポルトガル語<2次試験レポート>(全3本)

[http://hello.ac/guide/2012\\_2ji\\_siryo/2011portuguese.pdf](http://hello.ac/guide/2012_2ji_siryo/2011portuguese.pdf)

(6)ロシア語<2次試験レポート>(全5本)

[http://hello.ac/guide/2012\\_2ji\\_siryo/2011russian.pdf](http://hello.ac/guide/2012_2ji_siryo/2011russian.pdf)

(7)韓国語<2次試験レポート>(全5本)

[http://hello.ac/guide/2012\\_2ji\\_siryo/2011korean.pdf](http://hello.ac/guide/2012_2ji_siryo/2011korean.pdf)

(8)中国語<2次試験レポート>(全19本)

[http://hello.ac/guide/2012\\_2ji\\_siryo/2011chinese.pdf](http://hello.ac/guide/2012_2ji_siryo/2011chinese.pdf)

(9)英語<2次試験レポート>(全10本)

[http://hello.ac/guide/2012\\_2ji\\_siryo/2011english.pdf](http://hello.ac/guide/2012_2ji_siryo/2011english.pdf)

## ●＜英語・東京・メルマガ読者＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

約20年前の学生時代に一度だけ1次を受け不合格となってから、この試験からは遠のいていました。当時は外国で働いてみたい気持ちから英語の勉強を続けていましたが、実力はまだまだ、到底1次合格レベルではありませんでした。その後、外国での留学や勤務経験を得て数年前に帰国、日々英語を使う仕事に就いています。

私は現在の業務(旅行業ではありません)で、外国からのお客様と日本各地の仕事先を回ることがありますが生来の口下手を気にやんでおり、もう少しましになるべく努力するためのペースメーカーとして選んだのが今回の再受験でした。英検1級及び旅行業務取扱主任者に以前合格したので1次の英語及び日本地理は免除されました。他の1次科目及び2次面接対策に集中する必要がありました。

### (2)第1次試験対策

1次(日本歴史、及び一般常識を受験)対策として、貴ウェブサイトの通訳案内士試験資料室で提供されている過去問を活用しました。日本歴史の画像問題に関し、JNTO ウェブサイト提供の過去問では、肝心の画像が公開されていない箇所がありますが、貴ウェブサイトでは漏れなく公開されており価値がありました。また、同画像問題対策として高校歴史の資料集等を利用しました。合わせて、メルマガで知った両科目の最重要事項を直前に通読しました。

#### (ご参考)通訳案内士試験資料室

<http://hello.ac/dataroom/index.php>

### (3)第2次試験対策

2次対策として、1次終了直後から貴ウェブサイトのハローペディアにある日本の事象英文説明300選を読み進めましたが分量が多いのでなかなか捗らず、一読したものの暗記する気には至りませんでした。もう少しコンパクトにまとまった教材があれば、と思っていた矢先、試験日の約1か月前に2012年度＜英語第2次口述試験予想問題60題＞をメルマガで知り、これをメイン教材に据え、全60題の模範解答を暗唱できるようになるまで繰り返しました。

また、試験日の1週間前には2012年度通訳案内士試験＜第2次口述試験対策特別講習会＞の第2回分をYouTubeで拝見し、その講習資料として提供された時間帯別問題群から過去3年間分をまず抽出し、その中から上記予想問題60題のみでは対応しきれない15問を抜粋し、それらの模範解答をやはり暗唱できるようにしました。

さらに、直前に公開された英語＜2次試験レポート＞(全10本)からは、英語での大問をわずか2つ、3つしか受けなかった受験者が複数いたことを知り意外に思いました。また、当該受験者の発話内容や感想から、問われた数の多少や面接時間の長短は、合否にさほど影響していないようにも思いました。むしろ、旅行者とガイドとしての自然なやりとりが成立している、と試験官に印象付けるよう心がける方が重要そうであるとのことを読み取りました。試験日が近づくにつれ、様々な物事を英語で説明する癖が付き、日々の業務でも臆せず英語が口をついて出るようになってきていたので、本番に向けての自信につながりました。

(ご参考) <合格必勝資料> (全8本)

<合格必勝資料> (1)

<第2次口述試験の概要・心構え>

[http://hello.ac/guide/2012\\_2ji\\_siryo/2jisiryou1.pdf](http://hello.ac/guide/2012_2ji_siryo/2jisiryou1.pdf)

<合格必勝資料> (2)

<近年、第2次口述試験で出題された質問>

[http://hello.ac/guide/2012\\_2ji\\_siryo/2jisiryou2.pdf](http://hello.ac/guide/2012_2ji_siryo/2jisiryou2.pdf)

<合格必勝資料> (3)

2011年度<英語第2次口述試験>時間帯別問題群

2011年度<英語以外の外国語の第2次口述試験>に出題された質問、他

[http://hello.ac/guide/2012\\_2ji\\_siryo/2jisiryou3.pdf](http://hello.ac/guide/2012_2ji_siryo/2jisiryou3.pdf)

<合格必勝資料> (4)

2012年度<英語第2次口述試験予想問題60題>

[http://hello.ac/guide/2012\\_2ji\\_siryo/2jisiryou4.pdf](http://hello.ac/guide/2012_2ji_siryo/2jisiryou4.pdf)

<合格必勝資料> (5)

英語第2次口述試験<項目別質問集>

[http://hello.ac/guide/2012\\_2ji\\_siryo/2jisiryou5.pdf](http://hello.ac/guide/2012_2ji_siryo/2jisiryou5.pdf)

<合格必勝資料> (6)

英語第2次口述試験<時間帯別問題群と模範解答> (2006年～2009年)

[http://hello.ac/guide/2012\\_2ji\\_siryo/2jisiryou6.pdf](http://hello.ac/guide/2012_2ji_siryo/2jisiryou6.pdf)

<合格必勝資料> (7)

英語以外の外国語の<項目別質問集>

[http://hello.ac/guide/2012\\_2ji\\_siryo/2jisiryou7.pdf](http://hello.ac/guide/2012_2ji_siryo/2jisiryou7.pdf)

<合格必勝資料> (8)

鶴の恩返し<合格必勝法>

[http://hello.ac/guide/2012\\_2ji\\_siryo/2jisiryou8.pdf](http://hello.ac/guide/2012_2ji_siryo/2jisiryou8.pdf)

#### (4)ハローについて

無料での数々の資料ご提供に感謝しています。ふと思いついた今回の受験ですが準備には貴メルマガの情報が欠かせませんでした。また、良いペースメーカーでもあり様々な時点で励ましを頂戴しました。今後、合格者用のメルマガに登録させていただき、ご縁を持ち続けたく存じます。

#### (5)今後の抱負

さしあたり、現在の仕事を続けますので通訳案内業者として一本立ちする気持ちはありませんが、今回の試験対策で培った知識、会話表現力等を有効活用して今後、現職にて外国からのお客様のお相手をさせていただく際に、より楽しんでいただきビジネスの成功とともに、わが国の良き思い出をお持ち帰りいただくよう努めてまいります。

## ●＜英語・福岡・メルマガ読者＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

短大生のところからの憧れの資格でしたが、あまりに難しすぎるとあきらめていました。おとし英検一級に受かってから、この際ガイド試験にも挑戦しようと思い勉強を始めました。

### (2)第1次試験対策

日本史・日本歴史・一般常識ともハローのCDをメインに勉強しました。後はNHKの高校講座や旅行番組などを見ました。

### (3)第2次試験対策

ハローのCDをメインに関連本やオンラインレッスンを受けるなどして勉強しました。

### (4)ハローについて

去年ガイド試験を目指してからメルマガ読者になりました。全くの素人で何から手をつけて良いかわからなかったのが、本当に助かりました。特にいろんな教材を無料で公開していただいたり、格安でCDを分けて下さったり先生のご尽力に感謝しております。ありがとうございました。二次試験の直前、もう駄目かと半分諦めかけていましたが、YouTubeで先生のお話を聞いて勇気が出て、何とか二次試験を受ける気持ちになれました。

メルマガでは、外国人旅行者数など試験に必須の情報を送っていただきました。CD教材は実戦でもとても役立つと思うので、また一から真剣に聞き直したいと思っています。本当にお世話になりました。

### (5)今後の抱負

試験には合格したものの、まだ胸を張って「有資格者です。」と言える力はありません。初心者マークバリバリ、不安でいっぱいです。これからもっともっと精進して、正しい英語、豊富な知識でお客様を案内できるそんなガイドになりたいです。頑張ります。

## ●＜英語・東京・メルマガ読者＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

唯一の外国語に関連した国家試験に挑戦しなかったため。また、日本史や地理も好きであるため、試験勉強にかこつけて学習しなかったため。

### (2)第1次試験対策

- ①外国語試験:英検1級を取得していたため不要でした。
- ②歴史:歴史能力検定2級を取得し、免除となりました。
- ③地理:ハローの第1次邦文試験対策を中心に学習しました。過去問も何回か解きました。
- ④一般常識:

ハローの第1次邦文試験対策を中心に学習しました。併せて、過去問も何回か解くことに加え、大学受験用の時事問題をまとめた書籍も熟読しました(すみません、この書籍はすでに処分しており、名前を控えておりません)。日本観光局ホームページに公開されている統計資料から最近の数値(旅行者数など)も確認しました。

### (ご参考)＜最重要事項＞シリーズ

#### ＜日本地理の最重要事項＞

<http://hello.ac/houbun/geography/geo.saijuuyou1.pdf>

#### ＜日本歴史の最重要事項＞

<http://hello.ac/houbun/history/his.saijuuyou1.pdf>

#### ＜一般常識の最重要事項＞

<http://hello.ac/houbun/general/general.saijuuyou1.pdf>

### (3)第2次試験対策

先生からメルマガ形式で送っていただく過去問題をワードに貼り付け、印刷し、ホチキスでまとめて常に持ち歩いて読み返すことはもちろん、家では音読し、暗唱できるようにしました。

### (4)ハローについて

先生からの教材・資料がなければ、どう準備してよいのか分からず、途方に暮れていたことと思います。素晴らしい道しるべを示していただき誠にありがとうございました！

### (5)今後の抱負

私は会社員であるため、兼業は許可されていません。また、兼業が可能であったとしても通訳案内士の仕事を得ることは大変難しいと思います。しかしながら、常に「自分はガイド資格があるぞ」という気概を持ち、常に「この表現は英語でどう言うのかな？」など、常に外国語での言い回しについて興味を持っていきたいと思っています。また、地図を見ながら立ち止まっている外国人を見かけたら積極的に“Hello! May I help you?”と声をかけたいと思っています。

## ●＜英語・広島・旧生徒＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

各種語学教材や雑誌に掲載されていたハローの広告がいつも気になっていました。当時は一次試験が外国語、二次が口述試験、三次が邦文試験という試験方式でした。その頃目指していた英検一級と並ぶ資格として(現)通訳案内士試験に興味を持つようになり何気なく学校案内を取り寄せたところ、偶然にも大学の先輩が英検準一級合格者として体験談が写真付きで載っており、ハローとハローが受験対策に力を入れている当試験がますます身近に感じられるようになり、カセットテープでの通信受講を申し込みました。

※ハローに在籍したのはその年と翌年シニアコースですが、以下は、その後メルマガ読者となり、新方式で受験するようになってからのことを書かせていただきます。

### (2)第1次試験対策

#### ①外国語試験(英語)

英検1級を取得していたため不要でした。

#### ②地理

メルマガを見ながら日本地図で場所を確認し、その近くにある大きな都市や観光名所を確認する等の「地図上の旅」を繰り返しました。

#### ③歴史

一番苦手な科目でした。山川の教科書を読んでも頭に入らず、歴史能力検定2級も歯が立たなかったため、昨夏の「ありえへん価格」+送料無料キャンペーンに乗っかり、マラソンセミナー&DVDで学習しました。また、詳説日本史図解(確かこんな名前)で仏像や絵画、建築物等を確認しました。

#### ④一般常識

メルマガで一般常識を抑えつつ、携帯で歴史や芸術等に関する最新ニュースをチェックしました。  
※いずれも、ある程度学習した時点から JNTO サイトの過去問(平 17~23 年度分)を繰り返し、さらに通勤時間を利用して携帯で＜特訓 1800 題＞を解くなどしました。

### 第1次邦文試験対策＜特訓 1800 題＞

[http://www.hello.ac/~streaming/clinic/clinic\\_houbun/index.html](http://www.hello.ac/~streaming/clinic/clinic_houbun/index.html)

### (3)第2次試験対策

「ありえへん価格」+送料無料キャンペーンで DVD 教材を購入し、学習しました。そのほか、職場近くの英会話学校に相談し、たまたま過去に当試験対策のクラスを担当していた先生がいたので、2回プライベートレッスンを受けました。二次は今回初めての受験でしたが、直前に植山先生から提供された過去問、予想問題等の資料をもとに YouTube での各種講義を拝見することによりスムーズに学習を進めることができ、また他の受験生の存在を感じるにより孤独感とは終始無縁でいられました。

#### (4)ハローについて

ハローとは長いお付き合いとなりましたが、ハローから提供されるものは無駄ひとつないものでした。特に新方式になったのを機に早い段階で邦文試験の準備をする必要が出てからは、その存在の大きさを実感しました。植山先生に直接会ってこれまでのお礼を言いたかったのですが、祝賀会が催されないのが残念です。地方在住なのでこれも厳しいですが、やはり六本木のお寿司屋さんを狙うしかないと思っています(笑)。

また、年末に戸口先生の絵を頂き、お礼も言わないままになっていましたが、頂いたときは嬉しくてビックリしました。カラフルでポップな絵を見て元気が出ました。大変気に入っているのですが、せっかく頂いた貴重なものを手元に置いておくだけではもったいないと思い、年女の姉が経営する店に飾らせていただいています。

「良いこと多くある年じゃ」のひとつめの良いことが今回の合格でした。さらに、今回は二次試験受験レポートに続いて合格体験記を提出できてうれしいです。いずれも初めてでしたが、この経験も植山先生あってこそです。ありがとうございました。

#### (5)今後の抱負

まだ挨拶もままならないレベルなので長期戦になることは間違いなしですか、いつかドイツ語の案内士試験に挑戦します！また合格体験記が書けるよう頑張りますので、植山先生、今後ともよろしくお願いします。

## ●＜英語・東京・セミナー生＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

6月にJNTOのウェブサイトを見て、夫が「受けない」と言いましたので。夫が受かったらなんとなく悔しいので「私も！」となりました。

### (2)第1次試験対策

英語→「教本A」の英訳部分(2次にも役に立ちました)

地理→「マラソンセミナー日本地理」「旅に行きたくなる地図 日本」

歴史→「日本史講義の実況中継1-5」「日本史資料集」

一般常識→新聞、観光庁ウェブサイト、現代用語の基礎知識のナメ読み

### (3)第2次試験対策

「英語二次試験対策特訓セミナー 1-3」テキスト+DVD、CD、「日本の事象英文説明 300選」

### (4)ハローについて

通訳案内士試験合格、という意味では「マラソンセミナー日本地理」「二次試験特訓セミナー」「単語帳」が特に役に立ちました！！

あと、二次試験特別講座は素晴らしいものでした。(なお「歴史」は写真がところどころ黒く印刷されてしまったので、高校生用日本史資料集を使いました。

「一般常識」は、ちゃんと目を通せず……すみません。

英語一次試験用の教本A、Bなども素晴らしい教材だと思いますが、時間が足りず結局Aの英訳部分しかできませんでした。)

なお、プロのガイドとして研鑽を積むため、教本A、B、「日本の事象英文説明 300選」、単語帳、特訓セミナーは引き続き使用します。合格してからも使用できる教材というのは、素晴らしいです！！！！

### (5)今後の抱負

まず、臆せずにガイドの仕事を取りたいと思っています。「はじめてのガイドの仕事」をクリアすれば、あとはどんどん度胸がついてくると思うので。お客様が笑顔で「楽しかった」と言ってくださるようなベテランガイドになります。また、いずれは他言語でこの資格を取ります。

### (6)その他

以前お送りした二次試験のレポートに書いた通り、試験の出来は散々でした。。。なので、まさか受かるとは思っていませんでした。12月の二次試験特別講座で植山先生からパワーをいただいたこと、お送りくださったかわいらしい色紙を部屋のいい場所に飾っておいたことが効いて、合格したのだと思います。(本当に「今年はいいいことある年じゃ」でした！！)ありがとうございました。ちなみに夫も合格しました。

## ●＜英語・京都・メルマガ読者＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

海外生活が長く、日本語や日本の文化について聞かれることが何度もありましたが、きちんと答えられないことをいつももどかしく思っていました。語学のブラッシュアップだけでなく、日本の歴史、地理、時事の総レビューにも繋げるという意味で、ガイド試験の勉強を始めました。はじめは中国語での受験を考えていましたが、英検一級保持の場合、筆記が免除になることを知り、英語での受験を決意。今年は中国語での受験を考えています。

### (2)第1次試験対策

ハローの教材として、「日本歴史のまとめと対策」、「日本地理のまとめと対策」、過去問、メルマガで公開して頂いたマラソンセミナーと別冊を繰り返し学習しました。後は、「通訳ガイドー地理・歴史・一般常識完全対策(岸貴介著)」を購入し、学習しました。時間のない方はマラソンセミナー＋別冊でもかなりの力が付くと思います。

### (3)第2次試験対策

一次の一般常識の出来がとても悪く、自分では不合格だろうと思っていたため、合格発表を見るまでは、二次の勉強が始められませんでした。一次で英語が免除だったため、300選の暗記でさえできておらず、ラストヶ月を300選と特訓セミナー(1)(2)(3)の暗記に費やしました。最後は合格必勝資料、チェックリストを動画と見ながら学習しました。時間のない方は、「日本の事象英文説明300選」と合格必勝資料のみでもかなりポイントを絞れると思います。

### (4)ハローについて

夏に海外から海外の引越しがあり、勉強時間が取れない日が続き、何度もあきらめようと思いましたが、メルマガに励まされて、ここまで来られました。無料の公開ファイルは本当に助かりました。特に良かったのが、マラソンセミナーと別冊、合格必勝資料の中の予想問題60、特訓セミナーだと思います。あと、合格必勝動画！不安な気持ちが払拭され、心が軽くなりました。

### (5)今後の抱負

先ほども書きましたが、今年は中国語で受験するつもりです。中国語は英語に続き合格率の低い語学なので、不安は拭えません。ただ、邦文三教科が免除になりますので、すべての学習時間を中国語の筆記に費やして、何とか一次を突破できればと思っています。

そこまで英語の得意でない私が、こうして国家試験である通訳案内士の試験に合格できたのは、受験生のために惜しみなく心血をそそいで下さった植山先生のお蔭だと確信しています。今の私では、レベルが低く、とてもガイドなど務まるとは思えませんが、学習を重ね、自国のことを自信持って外国の方に伝えられる人間になれたらと思っています。今日がゴールではなく、新たなスタートだと思い、気を引き締めて日々精進したいと思っています。本当にありがとうございました。

## ●＜英語・京都・メルマガ読者＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

15年前所属していた会社部署の上司がハローの生徒として新大阪校に通いながら通訳案内士を目指しているという話を聞き、初めて『通訳案内士』なるものの存在を知りました。私には全く関係ないと思っていたのですが、自身がアメリカに赴任し、帰任した2002年に思わぬことにTOEICで900点以上をゲット。これはもしかしたら自分にも手が届く資格かな?と思い受験を意識しました。でも思うように実力が伸びず、英検1級にも不合格が続き、初めて通訳案内士試験を受けたのが2006年。ラッキーなことに一発で一次試験通過。その年には英検1級に何とか合格もできました。しかし、二次の面接は2006,2007と完全な準備不足で惨敗。その後、アメリカに再赴任したので受験できなかったのですが2012年2月に日本に帰国。帰国してみると英検1級ホルダーは1次試験が免除だったので今年の受験を決意。当然、比較的楽に2次試験を迎えることができ、この度なぜか合格できた次第です。

### (2)第1次試験対策

英検1級ホルダーなので英語は免除。地理は基本的に得意なので専用の勉強はせず。一般常識も問題が予想できないのでほとんど勉強せず。そこで高校でも習うことがなかった不得意科目の日本史に集中しました。それぞれ、80点、70点、59点で合格できました。もし、一般常識に映画の問題が出なかったら合格は無理だったかも。

### (3)第2次試験対策

ハローのウェブサイトの特訓道場の日本事象音声ファイルを聞きまくりました。完璧に覚えるまではいかなかったものの、何か答えることはできるはず・・・という微妙な自信がついた時点で二次試験を迎えることになりました。試験での応答内容にはあまり納得いかなかったのですが、8分間喋り続けたことがよかったのかも。

### (4)ハローについて

2006年頃に無料教材を何冊かいただき、2012年もその教材をベースに勉強をしました。ウェブサイトの音声ファイルも含め、ハローのおかげで今日の合格を迎えたのは間違いありません。ありがとうございました。

### (5)今後の抱負

もともと、今年の受験は部下に『何歳になっても勉強すれば目標は叶えられる』ことを示そうという意味もありました。(ちなみに私は51歳。ウチの会社はTOEICの点数が主任や管理職の昇格条件になるので、上司としても勉強する姿を見せる必要ありとも考えました。)しかし、合格したからにはこの資格をやがて来る定年後の生業とできるようにさらに精進する所存です。早急に研修にも参加したいのですが仕事が忙しくて・・・

### (6)その他

二次試験の出来が自分自身であり良くなかったと思うこと、二次試験の合格率が異常に高いこ

と・・・を考えると制度の変わる前に多数を合格させようという観光庁側の意思が働いたのか・・・などと邪推もするのですが、チャンスをいただいたことには心から感謝。この資格を合格者がうまく使っていけるよう、観光庁も通訳案内士の地位向上に努力して欲しいとおもいます。何はともあれメルマガでのサポートありがとうございました。

(ご参考) <2012年度通訳案内士試験 第1次筆記試験問題>

●日本地理

<http://hello.ac/guide/2012geography.pdf>

●日本歴史

<http://hello.ac/guide/2012history.pdf>

●一般常識

<http://hello.ac/guide/2012generalknowledge.pdf>

●英語

<http://hello.ac/guide/2012english.pdf>

●中国語

<http://hello.ac/guide/2012chinese.pdf>

●韓国語

<http://hello.ac/guide/2012korean.pdf>

●スペイン語

<http://hello.ac/guide/2012spanish.pdf>

●ドイツ語

<http://hello.ac/guide/2012german.pdf>

●フランス語

<http://hello.ac/guide/2012french.pdf>

●イタリア語

<http://hello.ac/guide/2012italian.pdf>

●ポルトガル語

<http://hello.ac/guide/2012portuguese.pdf>

●ロシア語

<http://hello.ac/guide/2012russian.pdf>

## ●＜英語・名古屋・メルマガ読者＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

仕事でアメリカ人の先生と生徒などを、10日間程度お世話する機会があったのですが、日常会話では問題なかったのですが、日本文化を説明するのに大変苦労しました。基本的な食材の名前(カツオやお好み焼きなど)も、電子辞書を使いながらようやく説明できる程度だったので、通訳案内士の資格を目指すことによって、よりスムーズにご案内ができるようにしたい、と思い、通訳案内士を目指すにいたりしました。あとは、国内英語資格の難関資格4つを、全て取得したいと思いました。「英検1級」「TOEIC990点」「通訳案内士」「国連英検特A級」の4つです。これで、あとは国連英検のみとなりました。

### (2)第1次試験対策:

#### ＜英語＞

・ハローの教材「教本A」「教本B」「ガイド用語集」「過去問題集」「ハローのメルマガ(単語)」

以上を2周やりました！英作文と和文英訳は特に参考になります。通訳案内士を目指すなら、絶対に1周はやるべきです！それから、メルマガの単語を全てまとめ直し、暗記するよう努めました。この単語の中から、本番はいくつも出題されたように思います。

・「日本の事象英文説明300選」

通勤時のシャドーイング教材で使用しました。4～5周はやりましたので、最後にはボロボロになってしまいました…。それほど最高の教材です！

・その他の教材「英作文が面白いほど書ける本(竹岡広信)」 「English EX(英文法)」

これらの教材で英作文と英文法の基礎力増強を図りました。英作文に不安のある方は、ハローの教本ABをやる前に、竹岡先生の本で基礎力を付けた方がいいかもしれません。

・「英語で語る日本事情」「英語で伝えたい普通の日本」

通勤時のシャドーイング用に使用しました。前者の方が参考になります。

#### ＜日本歴史＞

・「マラソンセミナー 日本の歴史」「山川詳説日本史図録」

マラソンセミナーの重要事項に蛍光ペンで印を付け、山川詳説日本史図録と照らし合わせながら、重要事項を覚えるよう努めました。特に文化史に重点をおき、仏像・建造物・寺社・絵画などを覚えるよう努めました。

・「超速日本史の流れ(竹内 睦泰)」

日本史全般と文化史について、この本の内容を自分なりにノートに全てまとめ直しました。

両方合わせてほぼノート1冊分ぐらいになりました。ハローの本をやる前にこちらをやり、日本史のおおまかな流れをつかみました。歴史は苦手意識があったのですが、そんな僕でも、この教材は挫折しませんでしたので、おすすめです。

## <日本地理>

・「マラソンセミナー 日本地理」「ハロー 白地図帳」

ハローの白地図帳に、ハローの地理のテキストの情報をとにかく書き込み、蛍光ペン(消せるペンが便利でした)で山脈や河川などを色分けし、覚えるよう努めました。余白がほとんどなくなるほど情報を書き込みました。白地図が文字や蛍光ペンの色で埋まっていくので、勉強の成果が目に見えるのでお勧めです。また、過去問をやる際に、間違えた問題をおさらいするのにも役立ちました。

## <一般常識>

・「マラソンセミナー 一般常識」

この本の内容をノートにまとめ直しました。一般常識はそれしかやっていません。本番で一番苦勞して出来が悪かったのがこの教科です。でも、合格したのでこれで充分だと思います。なにせ勉強するまでは、衆議院と参議院の定員数さえあやしかったので・・・。これでころもとないと思う方は、大学生の就職活動用の一般常識テキストをやれば十分かと思います。

## <勉強方法について>

勉強は、毎日欠かさず、自宅で夜9時から11時までやりました。(僕はテレビを見ない人間です。)とにかく集中して勉強しました。勉強中は集中しているので、家族は僕に話しかけてきません。仕事が定時で終わった時、出張などで余裕があるときは、カフェやファミレスで必ず勉強しました。あと、昼休みにハローの邦文試験自習ウェブサイト「1800 題」を必ず1周やり、間違えた問題をインターネットで調べたりしました。これも、とても大きかったと思います。あと、市販の邦文試験過去問題集も2周やりました。

受験を決意したのが 2011 年の 12 月なので、なんとか間に合ったという印象ですが、短期集中型の学習が功を奏したのだと思います。これ以外にも、日本画の展覧会があれば足を運んだり、能楽を見に行ったりもしました。

とにかく、ハローの無料のウェブサイト、テキスト、これが大きかったです。先生の「鶴の恩返し」がなければ、合格はありえなかったと思います。先生、本当にありがとうございました！！

## (3)第2次試験対策

・英語第2次試験対策「特訓セミナー(1)(2)(3)」

1次試験終了後に上記テキスト3冊を早速購入し、その設問の答えを自分なりにまとめ直しました。まとめ直したら、ひたすら喋る練習をしました。それが終わった後は、メルマガで送って頂いた過去問題をもとに、ひたすら英作文・喋る練習をしました。2012 年度予想問題のみ 3 周やりました。(その他は1周のみ)最後の2~3週間は妻に協力してもらって試験官になってもらい、毎晩模擬面接をして、本番の雰囲気慣れようと努めました。

## (4)ハローについて

ハロー、もしくは植山先生なくしては、僕は通訳案内士に合格しなかったと思います。

第1次試験から、僕の通訳案内士試験の教材の 8 割はハローでできています。教材を購入し、または無料でダウンロードし、最大限に活用させていただきました。また職場でも昼休みに邦文試験

自習サイトで毎日欠かさずに勉強しました。結果、1次試験に自信を持って臨むことができ、よい結果が出せました。特に苦手だった日本歴史と英作文が克服できたのが大きかったです。特に英作文は、試験が簡単に思えるほどまでに実力が付いていました。

第2次試験も、1次試験終了後にテキスト3冊を早速購入し、それが終わった後も過去の出題問題をもとに、ひたすら英作文・喋る練習をしました。最後の2~3週間は妻に協力してもらって試験官になってもらい、毎晩模擬面接をして、本番の雰囲気慣れようと努めました。第2次試験も、もつとできたのでは、とも思いますが、合格できたので文句ありません。試験本番で、難しい質問(川越の問題)にも落ち着いて受け答えができたのも、よい教材で密度の濃い準備ができたからだとも思います。

自分の実力はまだまだですが、勉強を始めた1年前と比べると、少しは成長したようです。本当に、先生にはお世話になりました。こうやってレポートを記入していても、先生の助けなしではここまで来られなかったのではないかと痛感しています。ありがとうございました。僕は、ハローの、また先生の生徒であったことに誇りを持っています。ようやく、先生の「鶴の恩返し」に報いる日がやってきたことを、本当にうれしく思います。僕だけでなく、たくさんの方がそう思っているはずですよ。先生は、通訳案内士界の至宝です。これからもお体に気を付けて、永くがんばってください！！

#### **(5)今後の抱負:**

今後は、通訳案内士の名に恥じることなく、外国人のお客様に日本文化を楽しく、正確に伝えられるようにしたいです。民間の goodwill ambassador として、日本の観光立国化に少しでも貢献できればうれしいです。また、日本の観光を取り巻くさまざまな問題にもアンテナをはって、さまざまな問題の解決に少しでも関わることができればうれしいです。

## ●＜英語・東京・メルマガ読者＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

英検1級を取得したので、ガイド資格も取ってみようと思ったのが受験動機です。とうてい無理と思っていた英検1級、そして通訳ガイド資格ですが、一步一步登っていくことで達成できるものなんですね。

### (2)第1次試験対策

ハローの教材のみです。iphoneで「特訓1800題」を毎日2時間の通勤時間を使って学習しました。直前対策は総仕上げとして最高の教材でした。あとは、歴史小説やドラマなどで、ストーリーとして歴史を楽しく勉強しました。

### (3)第2次試験対策

ハローの教材のみです。CDを聴きながら、模範解答を自分なりの言い回しに変えてすらすら言えるように練習しました。CDのネイティブ講師のアドバイスがとても参考になりました。直前に植山先生が徹夜して準備してくださった予想質問集は非常に心の支えになりました。

### (4)ハローについて

スクールに通ったら何十万円もかかるところを、ほとんどお金をかけずに合格。しかも、3ヶ月という短期間の準備で！このありえへん合格を導いてくれたハローはありえへんほど素晴らしいです。

### (5)今後の抱負

資格はスタートにすぎません。資格をどういかすかが本当の能力。自分なりのプラスαを考えて、仕事に結びつけて行きたいと思っています。最後になりましたが、植山先生に心からお礼を申し上げます。

## ●＜英語・京都・旧生徒＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

受験の動機は、留学から帰国後、たまたま受けたアテンド通訳の仕事で一緒にいた同僚が「通訳ガイド」有資格の方で、その方から刺激を受け自分も目指すことにしました。受験を決めたその年から合格まで実に約10年もかかってしまいましたが、今振りかえればこの10年間に旅行会社でインバウンド手配の仕事をし(ガイドさんを手配する側で自分もアテンドとしてベテランガイドさんの仕事を見させていただくこともできました)、結婚もし、二人の子供を出産し、何度も受験勉強は中断しましたが、育児に追われながらも勉強をがんばれたとても実りのある30代となったと思います。

### (2)第1次試験対策

2002年大阪校に一年通いました。留学から帰国後とはいえ、授業はとても難しかった記憶があります。仕事をしながらでしたので十分に予習復習ができず、もったいないことに消化不良のまま1年が過ぎてしまいました。本腰をいれ受験勉強をし始めたのは2004年からです。消化できていなかったテキストを片っ端から解きました。ガイド試験より先に2007年に英検1級に合格しました。

### (3)第2次試験対策

2005年邦文試験CDで通信講座を受けました。不得意だった歴史を中心に何度も何度もテキストをくりかえし、自分でノートにまとめたりしました。隙間時間を見つけては講義を聴いていました。一般常識は年度ごとに対策も変わるので2009年にもう一度マラソンコースを受講しました。

### (4)ハローについて

私にとってガイド試験は、邦文が受ければ英語を落とし、英語が免除になれば邦文の1教科を落とし、何度も受けなおしの繰り返しで、長い長い道のりとなりました。合格率も上がり、回りの知人がどんどん合格していく中で孤独な受験勉強を続けられたのは本当にハローのおかげです。何回も不合格で悲しい思いをしましたが不思議と諦めようとは一度も思いませんでした。ありがとうございました。今こうやって合格体験記を書けることが本当に嬉しくて、感無量です。(ハローのお客様係さんから「ご受験の準備はいかがですか」などのメールや電話を頂き、ほんとに嬉しかったのを覚えています。やっと合格できました！と報告したいです。)

### (5)今後の抱負

今はまだ子供が小さいのでガイドの仕事には出られませんが、私自身、京都生まれ京都在住ですので、これからは自分の苦手な歴史をもっと積極的に学び、京都や歴史に詳しいガイドになりたいです。欲張りかもしれませんが他の言語にも挑戦したいです。

## ●＜英語・東京・セミナー生＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

現在はフルタイムで仕事をしておりますが、定年退職後は通訳ガイドになりたいと常々思っておりました。仕事と子育ての毎日に追われ、なかなか自分の為の時間が持てずにいましたが、去年の春、子供が大学に入学したのを機に、長年興味があった通訳案内士の試験に挑戦することにしました。英検一級を若い時に取得していたので英語は免除、一次の準備は歴史、地理、一般常識の三科目。ただ、なかなかまとまった勉強時間を確保するのが難しかったので、一年目は地理と一般常識、二年目は歴史を勉強し、二年目に合格できればと考え、準備を進めていました。結果的には、全く勉強しなかった歴史も幸運にも合格できたので、予定よりも早く通訳案内士試験に合格することができました。

### (2)第1次試験対策

\* 法学書院「通訳ガイド地理・歴史・一般常識完全対策」で、歴史以外の過去の問題を解き、間違えた箇所をひたすら暗記しました。

\* 特に地理が壊滅的な程苦手だったので、小学生レベルにまで戻っての勉強でした。具体的には日能研の「白地図作業ノート」を何度も繰り返し解き、基本的な事柄(県庁所在地、川、平野、山脈、地方別の産業等)間違えた箇所を繰り返し覚えました。

\* もっと恥ずかしい話ですが、各県の位置や県庁所在地を確実に覚える為に、小学生低学年用(幼児用?)の地理パズルも利用しました。

\* 世界遺産や観光名所等は実際に訪れたことがないと、文章の羅列だけではなかなか頭に入りませんし、写真入りの問題も過去に頻出しているので、ネットで画像を検索、世界遺産、名所名跡、寺社寺院ごとに保存し、特徴などを書き加え、画像入りマイ教材をワードで作成しました。

\* 帝国書院「旅に出たくなる地図」、これは勉強というよりは、勉強する気になれない時等、寝ころび楽しみながら見ていました。写真が沢山載っているので、試験対策にもなりました。

一言に暗記と言っても、今まで覚えていた単語や人の名前すら忘れていく私の錆びついた脳。なかなか新しいことは頭に入って来ませんし、平日は疲れて机に向かうこともままならなかったので、暗記する必要がある事柄は自分の声でICレコーダに録音し、通勤途中や家事をしながら聞きながら覚える様努めました。

一次試験では、苦手な地理を基礎から徹底的に勉強したことが奏功し、三科目の中では一番の高得点。ただかなり準備して臨んだはずの一般常識は、自己採点では六割に満たない程の点数で、全く勉強していない歴史よりも酷い点数でした。合格ラインは最低六割と聞いていたので一次は不合格かもしれないと思いながらも、発表から二次までの期間が短い事もあり、一応二次の準備を開始しました。(とは言え、合格通知が届くまでは勉強にあまり熱が入りませんでした…)。

### (3)二次試験対策 (4)ハローについて

使用教材を書店などで色々探しましたが、気に入ったものが見つからず、最終的にはネットで見つけたハローの「日本の事象英文説明 300 選」(CD付)、「英語第2次試験対策特訓セミナー1」、「英語第2次試験対策特訓セミナー2」、「英語第2次試験対策特訓セミナー3」を買い求め、これをベースに勉強を進めました。昔、ハローに通学し通訳ガイドの資格を取得した友人がいるので、ハローのことは知っていましたが閉校してしまったことは知らず非常にながかりしましたが、教材は販売されていることを知り、救われた気持ちになりました。

ハローのメルマガも早速申し込みしました。植山先生から送られてくるメルマガは有益な情報が満載で、毎回楽しみにしていました。特に試験が近くなってからは「あと試験までxx日」というフレーズが、怠け心に喝を入れてくれました。

これらハローの教材に掲載されている英語表現をベースに、自分の意見等を加え、自分が使い慣れている表現にアレンジし、日本語訳を添えてワードでスクリプトを作成していきました。一次試験合格発表後、このスクリプトを自分の声でICレコーダに録音し、一次の時と同様、通勤時間や家事をしながらひたすら聞き、音声と一緒にぶつぶつぶやきながら、暗記するよう努めました。

この他、本番で緊張せず試験に臨める様、都内の通訳ガイド学校で開催されていた二次試験対策セミナーにも仕事帰りに四回程通いました。短期間ではありましたが、外人面接官との模擬面接、他の生徒さんの前で恥をかくことは勉強になりました。試験本番ではアメリカ人以外に、イギリス人、カナダ人、オーストラリア人、どの国の面接官に当たるかわかりません。こちらでお世話になった外人講師はイギリス人だったので馴染みのないイギリス英語に慣れる良い機会にもなりました。また、私は椅子に座ると右側に傾き、少し前のめりになる傾向があるようなので、この様な指摘も一人で勉強しているだけでは気づかないままになっていたのも助かりました。

二次試験の直前に植山先生が開催して下さいました直前セミナーにも参加させて頂きました。これは本当に大変有難かったです。長年蓄積された先生のノウハウ、試験の傾向と対策、わからない質問を出された時の対応法などを短時間で教えて頂きました。このセミナーでは無料だとは信じられない程、重要なことばかりを伝授して頂きました。自分で作成したワードの資料・スクリプトが 60 ページを超えかなりの量になってしまっていたので、メルマガを通じて配布して下さいました資料「2012年度英語第2次口述試験予想問題 60 題(しかも模範解答と日本語訳付)は、最重要な事柄だけがコンパクトにまとまっており、ダイジェスト版として試験の直前まで使わせて頂きました。二次試験では「忍者」の事が聞かれたのですが、先生がこのセミナーで忍者の事に触れて下さったお蔭で、完璧に答えることができました。面接中は先生のアドバイス通り、笑顔をやさず、会話を楽しむ気持ちで臨んだので、緊張することもなく試験に臨むことができました。ハローの教材、メルマガで配布して下さいました資料と情報、直前セミナー、すべてが今回の合格には不可欠でした。あらためて植山先生に心から感謝致します。

### (5)今後の抱負

ご縁があり合格を頂いた通訳案内士の資格。その名に恥じない様、更に勉強を続け日本の素晴らしさを一人でも多くの外国人に知ってもらい、また是非日本に戻ってきたいと思ってもらえるような通訳ガイドを目指したいと思います。今後とも宜しくご指導下さい。

## ●＜英語・東京・メルマガ読者＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

日本の魅力を世界に向けて発信したいと思い、英語の勉強を始めました。英検1級合格後、日本についての知識を深めたいと思い、通訳案内士試験を受験しようと思いました。

### (2)第1次試験対策

語学は免除でしたので、邦文三科目を集中して勉強することができました。最初は中学や高校の参考書で勉強していましたが、ハローがマラソンセミナーのテキストを公開してからは、それを中心に勉強しました。DVDを購入しましたので、実際にセミナーを受けているような感覚で効率よく勉強することができました。

### (3)第2次試験対策

ハローの「日本的事象英文説明 300 選」を暗記しました。また、2次特訓セミナーのテキストを見て、繰り返し練習しました。DVDも購入しましたが、時間がなくて全て見ることはできませんでした。私は英語で話すことに慣れていないため、実際のやりとりの練習が絶対に必要だと思ったので、2次のレッスンをしている先生を探して、個別のレッスンも受けました。

### (4)ハローについて

豊富な情報と多くの合格者を出してきた実績ある教材を提供して下さり、感謝いたします。メルマガ、予想問題、最重要事項、特別講習会、さらには試験結果の確認方法まで、至れり尽くせりで、本当にありがとうございました。

### (5)今後の抱負

さらに知識を深め、英語力を向上させて、日本の文化・歴史・観光地などの魅力をしっかりとお伝えできるようになりたいと思います。

## ●＜英語・京都・旧生徒＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

韓国語の通訳・翻訳をめざして勉強中です。自分自身も仕事をしていますが、旅行が大好きで、日本と韓国のあちこちをリーズナブル旅行するために、時間とお金の捻出に励んでいます。ぜひこの試験にチャレンジして、近い将来に使い物になるガイドとして活躍できたら、嬉しいと思いました。

### (2)第1次試験対策

受験を決めたのが昨年5月くらいです。1年目は様子見をして2年計画のつもりでした。受験勉強も大昔のことなので、はじめは何からはじめたらいいか迷いました。歴史は、高校の教科書を買いましたが、詳しすぎて意欲喪失で失敗。代わってハローの第1次邦文試験対策(日本地理、日本歴史、一般常識)＜特訓1800題＞は、本当に役立ちました。これで間違っものを復習したり、関連の事柄を調べて覚えたりしました。

### (3)第2次試験対策

こちらも予想問題をダウンロードして印刷し、自分で韓国語に置き換えて声に出して練習しました。直前には、YouTubeでお話を聞きました。評価基準は、「正解かどうかではない、沈黙はだめだ」という言葉を胸に、自分がよく使っている言葉で話すように心がけました。「建前と本音とは何か？どう思うか？」という質問は、よくあるはずなのに、いきなり言われるとしどろもどろになりました。文楽、歌舞伎、狂言、能が出るというヤマはずれました。帰りの電車で隣に座った方は、中国語を受験されたのですが、情報交換すると問題はいっしょでした。また、海水浴場であなたが推薦するところはどこかと聞かれたのも、その海岸の魅力をうまく伝えられず、平凡な答えになりました。最後に日本語でどういう点を大事にしてガイドになりたいかと聞かれたので、何よりも安全を大事にしたいと答えました。丁度、中国の万里の長城での事故があったところだったからです。天候や流行の感染症、交通事情など様々な変数がある中で、慣れない海外での旅行を健康に、安全に楽しむことが一番重要だと思いました。

### (4)ハローについて

2年ほどまでに、英語のスキルアップを考えていて夜中にネットで探していたら、ハロー通訳アカデミーに出会いました。その内にメルマガでこのガイド試験に関する情報もいただいたような記憶があります。無料で使わせていただいて本当に感謝しています。せめてものお礼と思い、メールしました。

### (5)今後の抱負

今の自分のレベルでは、観光の専門知識はもちろんのこと、韓国語でのなめらかなコミュニケーションにも実力が不足していると思います。せっかく受験に向けても基礎知識を勉強したので、本当に使いものになる通訳案内士になりたいと思います。

## ●＜英語・京都・メルマガ読者＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

私はもともと学生のころから海外への旅が好きで、特に日本と全く異なった文化に触れることがとても楽しみでした。少数民族の村をたずねるトレッキング、砂漠のなかでのテントでの寝泊まり、アマゾンでの体験…。いろいろな条件に恵まれ、さまざまな経験をさせていただきました。しかし、逆に自分は果たして日本のことについて何をどのくらい知っているのだろうか？大切なことはあまり知らないのではないか？そして何も伝えられていないのではないか？との疑問がわき上がっていました。外国との交流などと言っても、所詮自分が与えてもらっているだけの一方通行のもので、自分からは何もできていないのではないか？

時は経ちましたが、職業柄、近年では来日される留学生と交流したり海外で発表したりという機会にめぐまれるようになりました。そして、すでに述べましたような学生時代の思いが、再び頭をもたげてきました。そして、今度こそ、ぜひとも日本のことについて、まずは自分がしっかりと知識・理解力を持ち、海外の方々にも発信していきたいと考えるようになりました。折しも通訳案内士という資格について知り、ぜひとも資格をとろうと思い立つようになりました。そしてちょうど1年前の1月ごろから、ハローのメルマガに登録させていただきました。

### (2)第1次試験対策

私はもともと理系出身で、特に歴史に関してはほぼゼロからのスタートでした。そのため、歴史に関しては概要をつかむためにまず、一次試験の1年以上前から『読むだけですっきりわかる日本史』という文庫本を1冊、何度も読みとおしました。また、地理についても同様の本や地図帳『旅に出たくなる地図日本』、一般常識については就職試験用の本を読みました。同時にハローのオンラインクイズを利用させていただき、断片的ではあるものの、各種知識を身につけていきました。そして過去問を解いてみました！ですが…あまりにものできのわるさに愕然としました。どの資格試験にもいえることですが、試験の動向をつかんである程度試験に特化した勉強をしないと歯が立ちません。このあと、どのような勉強方法をすればよいものか、ほとんどまいてしまいました…。Amazon でハローの何年も前のテキストが中古で販売されているのをみつけましたが、1冊1万円などというプレミア付きの価格で、さすがに購入には踏み切れませんでした。

そのようなとき、植山先生がハローの教材を公開いただき、そればかりか CD/DVD も破格の値段にて販売いただき、本当に助かりました…。

PDF 版の教材はすべてコピーし、1回目は資料(詳説日本史図録や地図帳)を参考にしながら自分で教材をすみからすみまで読み、下線をひくなどしてチェックする、2回目はCDを聞きながらもう一度最初から最後までチェックする、そしてその後は弱点を中心に教材を読みなおす一方で、通勤などの際にCDをiPodにおとして講義をすべて聞きなおすという勉強方法をとりました。過去問も最近5年の分は、2回はやりました。ハローのオンラインの教材も、ひたすら利用させていただきました。ただ、それでも「何をすれば完璧」といったものが存在するわけではありませんし、また試験勉強以外の本業もありますし、最後の2週間は、自分との戦いで、きつかったです。本番のできとしては、歴史と地理はまずまず、一般常識はボーダー(一般常識の対策は毎年アップデートした知識が必要となるので、難しかったです)。そして…合格しました。

### (3)第2次試験対策

実は、すでに述べましたように、外国語(英語)を用いて日本の紹介をしたいという動機はずっと以前からありましたので、一次試験の前から、「日本の事象英文説明 300 選」や日本事象を英語で紹介した CD などを iPod で聞いていました。ですので、正直まあなんとかなるだろうと甘く思っていました。

しかし、ハローの二次対策用の教材、CD を使用しはじめると、質問内容自体が非常に奥深く、また CD では生徒さんたちの背景知識の深さに驚かされ、改めて勉強の必要性を感じました。一次試験のときも実はそうでしたが、勉強の合間に博物館に出向くなど、ありとあらゆる方面から日本事象・文化の理解を深めようと努力しました。また、かなりしんどい作業ではありましたが、まずは過去問について、そしてその次はハローの対策テキストの問題について、回答案を参照しながら自分の英語表現に置き換えてワードファイルに保存し、さらにハローの CD を聞きながら表現や追加項目を補足して修正していくという作業をひたすら繰り返しました。自分の英語表現を集めたワードファイルは、結局100ページを超えましたが、微修正しながら何度も何度も音読するというのを繰り返しました。本番、その中から出た質問も出なかったも質問もありましたが、特に落ち着いて本番を迎えられるという精神衛生上の効果が大きく、無事受かりました。

蛇足(そして個人的意見)ですが、本番の質問の中に「日本ではなぜチップが不要なのですか?」という問いがありました。私は、「チップ(サービス料)はすでに料金に含まれているから不要」という答は的はずれで、質問者の意図・求めているものではないと考え、「日本でチップが要らないのは、日本にどのような文化的背景があるからなのですか」という趣旨の質問だと考え、答に苦慮して逆にやや的を得ない答になってしまったように思います。

### (4)ハローについて

私のとった勉強方法は、9割以上がハローの教材(CD 含む)です。このような知恵の詰まった教材を無償で提供いただき、また無償で直前講習いただくという神業に対しては、本当に感謝いたしております。ハローの植山先生がおられなければまず合格はありえなかったと思います。いくら感謝しても感謝しきれません。本当にどうもありがとうございました。

### (5)今後の抱負

今すぐプロの通訳案内士にならないというと、邪道と受け止められるかもしれませんが、在日留学生や私自身の海外出張という機会がこれからちよくちよくありますので、日本の文化についてしっかりとお伝えし、そして案内させていただければと思います。それが、今の私に与えられた役割だと考えております。また、ずっと先の話にはなりますが、定年後に通訳案内士としての人生を歩む生き方も視野に入れていきます。これからも、さまざまな場面において、外国文化と日本文化の架け橋になるよう、日々励んでまいります!!

## ●＜英語・東京・旧生徒＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

大学は英文科卒で、英語の力は見える目標を持って学習を続けないと維持・向上ができないと思い、通訳ガイド資格(当時の名称)取得を考えました。

話が長くなりますが、異動による勤務地の関係で二度ハローの生徒になっています。最初は 1986 年で、旧校名のハロー語学センターからハロー通訳アカデミーに変わった時です。

ハロー通訳アカデミーの一期生でした。当時から教材等には戸ロツトム先生のイラストが溢れ、もちろん強烈なイメージ・キャラクターは「植山学院長(失礼!)」ご本人でした。長年にわたるコーポレートイメージの一貫性はさすがです。次に東京に戻ってきた際(1993 年)に、勉強を続ける為に阿佐ヶ谷の教室に通い始め、またもや異動で断念した経緯があります。再び 2011 年 1 月末に東京に戻ってきて(通訳案内士に名称が変わっていました)、三度目の入校手続きを取ろうと阿佐ヶ谷まで行ったのですが直前に閉校された事を知り大きなショックを受けました。しかし時代と共に学習環境も変わり、植山学院長が WEB ベースで指導を続けてくださっている事を知り、昔のテキストや新規購入のテキストをベースに自分で学習を続け、この度おかげ様で合格する事ができました。

### (2)第1次試験対策

第1次試験は合格に2年かけました。2011年に一般常識と地理に合格、2012年に日本史に合格しています。

#### ＜一般常識＞

特別に勉強した記憶がなく、会社員(金融業)ですので、毎日ニュースを見るとか新聞を見るとかで経済の知識を含めて対応ができたのだと思います。

#### ＜日本地理＞

最も自信が無い科目でしたが、ほとんどまぐれで合格したのでしょうか。国立公園とか、国定公園の「読み方」とかその所在地の都道府県名、山や川の名前はハローの教材を利用しました。

#### ＜日本歴史＞

大学時代の受験科目だったので自信が有りましたが、初年度にあっけなく落としました。その後、心を入れ換え年号暗記なども大学の受験レベルよりも粒度を上げて学習しました。過去問題を見る中で効果的と思われたのが、日本史に関わった外国人の出身国名、業績の理解でした。加えて、文学作品や学問関係で「作品名」と「作者、作家名」をできるだけ覚えておく事が、点数の取りこぼし防止に役立つ事が分かりました。

#### ＜英語筆記＞

たまたまハローに通学後、英語検定一級を取得し、その後の制度変更で筆記試験の免除対象となりました。

### (3)第2次試験対策

2 次面接試験の学習は、一次試験に残った「日本歴史」受験後から始めました。現在の仕事でも英語を使っておりますので一般的な話題なら自分の意思は伝えられますので、通訳ガイドに必要な用語の習得に力を入れました。2 度のハローの学生時代に勉強していた事柄、用語も徐々に思い出し、なつかしさと共に勉強を続ける事ができました。一番役に立ったのが「日本の事象英文説明 300 選」で、日本の事象の説明はもちろんの事、文章としての表現の方法も大変参考になりました。これから勉強しようとされる方にアドバイスが出来るとなると、「300 選」に記載されている格調高い文章をそのまま丸暗記しようとしても、頭に入りませんし(私だけかもしれませんが)、面接レベルの会話では難しすぎる事が分かりました。最初のうちは、例えばですが、「俳句」というキーワードに関連して、“17 syllables in a 5-7-5 pattern”だけを、まず覚えて口から出てくる様にするのが大事でしょう。あとは自分の言葉で a season word(季語)がどうのとか、Matsuo Basho(英語じゃないって!)の説明を加えると、このテーマは持ちこたえそうです。

このレベルであれば 300 語くらいは比較的簡単にマスターできる事を発見したのが自信につながりました。植山先生もおっしゃっていましたが、自分で自信を持って使える単語、表現を利用すべきで、それこそ面接で最悪の「沈黙」を回避するコツになるはずですよ。

### (4)ハローについて

ハローは長年私の生活の一部でした。ぜいたくな悩みですが合格によって卒業するのが寂しいくらいです。植山先生には大変お世話になりましたし、また先生のお仕事に取り組む熱心さや真摯さ、情熱は、大げさでなく自分自身の今の業務への取り組みにも刺激となっています。(マーガレット・サッチャー女史の来日時、講演会にも参加させていただいたのが良い思い出です。植山先生のスケールな大きなお仕事ぶりにも敬服いたします。)

### (5)今後の抱負

現在ほど、日本から世界に我々の前向きな発信が重要な時代は無いと思われれます。現在の仕事でも外国人との接点が多く、観光にとどまらず、産業や文化面で付加価値の高いコミュニケーション能力を発揮してゆける様、引き続き精進を続けてゆきたいと考えています。

## ●＜英語・東京・旧生徒＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

15年前にハローで勉強していたのですが、2年前から英検1級合格を機に再度2年前からハローの教材で勉強して見事リベンジ致しました。念願の資格がとれとても感謝をしています。英語学習は地道に継続することが一番大切であることを再認識させられました。

### (2)第1次試験対策

英語は免除でしたが、一年目の邦文試験は、地理しか合格できず、悔しい思いをしましたが、2年目はハローの教材を使い勉強しました。特に歴史はNHKの歴史に関する番組はすべて録画し、楽しみながら暗記するように心掛けました。一般常識は観光に関するものの他に過去門が何度か出てたことから、過去5年分の問題は暗記するようにしました。

### (3)第2次試験対策

日本事象はポイントの単語はしっかり暗記しながら、自分の言葉で説明できるようにしました。できるだけ簡単な言葉で話した方が、試験の時もあまり緊張せず説明できました。テキストはいろいろありますが、これと決めたものを何度も繰り返すのが一番です。

### (4)ハローについて

ハローのテキストは今回格安の値段で再度手に入ったことでとても役に立ちました。また、直前のまとめのe-mailも知識を整理するにはうってつけでした。こんなにいろいろな情報を提供くださり、感謝致します。

### (5)今後の抱負

この資格を使いボランティアで様々な国の人にガイドができればと思います。また、もし東京オリンピックが開催されたら、積極的に案内できればと考えています。また、今後この試験を受ける方に、すこしでもアドバイスできたらいいと思います。

## ●＜英語・東京・セミナー生＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

第二の人生の準備です。

### (2)第1次試験対策

3月に受験を思いつき、ハローのHPを知りました。HPの模擬試験で地理と歴史が合格点未満でした。地理は、観光ガイド資格の問題集で鍛え合格点に達するようになりましたが、歴史が鬼門でした。そこで、鶴の恩返しのDVDを購入し一ヶ月程度で一通り聞くと歴史がすっかり好きになっていました。一般常識は8月のお盆からハローのテキストではじめましたが、試験では一番危なかったと思います。自己採点で50点程度でしたので不合格と予想していましたが合格してしまい、慌てました。

### (3)第2次試験対策

11月に一次の合格発表があり、ハローの2次対策テキスト3部作を購入し、これを参考に自分なりの回答を作成し、ICレコーダに録音し、繰り返し聞き流しました。また、〇〇アカデミーの模擬面接を3回受講しました。植山先生の2次対策セミナーにも参加し、予想問題を中心に回答をブラッシュアップして暗記しましたが、私の場合、2次面接は全く予想外の設問で満足に回答できず、もう一年がんばろうと思っていたところ意外にも合格してしまいました。

### (4)ハローについて

鶴の恩返しや2次対策セミナーは大変役に立ちました。

### (5)今後の抱負

2次試験の合格率は87.1%と聞き、合格してからが問題だという思いを新たにしました。当面はボランティアの通訳を探して自己研鑽し、プロの通訳を目指したいと思います。これが第二の人生の生活の糧となれば一石二鳥というものです

## ●＜英語・東京・メルマガ読者＞

### (1) はじめに(受験の動機など)

受験の動機としては、父親の影響で旅行が好きなのが1つの理由です。物心ついた後は、気が付けば鉄ちゃんになっていました。というわけで、知らないところに旅行に行くのは大好きです。

もう一つは、外国に行った際にお世話になったガイドの方々の仕事ぶりに感銘を受けたことがあります。仕事柄外国出張が多いのですが、仕事の合間に訪問地のガイドさんにお世話になることが良くあります。とにかく何でも笑顔で教えてくれて、かつ常に観光客の面倒に気を配るガイドしか見たことがありません。怪しげな土産物店なんか連れて行かれた記憶はないです。オックスフォード大学でのジョークたっぷりのガイドさん、ナイアガラ滝での関係ないことでも何でも聞いて頂戴のガイドさん、中国四川省成都の武侯祠の日本語ペラペラのお姐さん等々、プロのガイドは博学のみならずエンターテイナーだなーと感心しました。

極めつけは 18 年前のウクライナのキエフのペチェルスカヤ大修道院での出来事で、いかつい地元のおヤジ(?)からいきなり「日本人か?」と言われ、からまれたことがありました。ロシア語はちょっとかじっていましたが、相手が興奮してしゃべるので何を言っているのかさっぱり分からず、一瞬「クリルなんとか」と聞こえたので北方領土のことを言っているのかなと思っていると、小柄なガイド氏がすっと間に立ち、大男に向かってまくしたてて追っ払いました。ガイド氏曰く「あの男は極東の領土に対する日本の主張がけしからんと言っていたが、あなた達には全く関係のないことだ。不愉快な思いをさせてすまない。ここの住人がみんなあんな風だとは思わないでほしい。(以上英語)」修道院で見た数々のアイコンや装飾品よりも、ガイド氏のこの言葉に感動しました。これがプロなんだと思いました。

..ということもあり、通訳ガイド試験の時代からいつかは受験したいと考えていましたが、3 次試験まであるし、そもそも英語の試験のレベルが半端ではない。と、二の足を踏んでいるうちに制度が変わり、英検 1 級を取得すれば 1 次試験の英語が免除ということになりました。「急がば回れ」。まずは英検 1 級から落とそう。これが受験の始まりでした。

### (2) 第1次試験対策

#### (a) 英語

英語は英検 1 級を取得してましたので免除でした。(といっても決して平坦な道のりではなく、10 年がかり 3 度目の正直で何とか受かりました。)

以下の非語学系 3 科目の学習の中核になったのは、ハローのマラソンセミナー、マラソンセミナー別冊、最重要事項です。必要かつ十分な内容で、とにかくこれだけ完全に理解できていれば合格点をもたらせることは間違いありません。

#### (b) 日本地理

実は小さいころから地図を読むのが趣味で地名には割合強く、また旅行が好きなので、地誌自体は得意だと思っていました。但し、観光の観点から全国津々浦々を網羅した知識はないので、まずハローの「マラソンセミナー日本地理」、「マラソンセミナー日本地理(2010 年度受験用別冊テキスト)」、「日本地理の最重要事項」を読みました(3 回)。もちろん「項目別地図帳」と「都道府県別地図帳」も活用しました。

マラソンセミナーは本当に内容が deep で、各地の観光スポットの説明もそうですが、各県の郷土料理と祭りの解説が素晴らしい。「仏ヶ浦」、「蘇洞門」、「竜串海岸」とか行ったことがない観光地の情報もありがたかったです。特に良いのはカラー写真がふんだんにあることで、「ここはどこ？」的な設問に十分対応できるようになると思います。ここまで網羅されたテキストはどこを探してもありませんし、今後のガイドの仕事に役立つ秀逸な資料集です。とにかく頭に叩き込み、その後で、理解度の確認のためマラソンセミナーの巻末問題を解きました。解答はノートに書き込んで、間違ったところは何度も解き直しました。

はっきり言って、日本地理の対策はこのマラソンセミナーを完璧に理解すれば十分だと思いますが、一般常識の問題に関連して最近の日本の経済・産業・文化とその地域分布についての知識も必要だと考えましたので、補足の資料として、「今がわかる時代がわかる 2012 年版日本地図(成美堂出版)」と「日本国勢図絵<2011/12>(矢野恒太記念会)」にもザッと目を通しました。前者は昭文社の物でも良いです(扱っているテーマが少し異なりますので好きな方を)。

また、2011 年からは地形図を読む問題が出るようになりましたので、中学校の地理の参考書で地図記号の再確認が必要と思います。

### (c)日本歴史

私は理系でしたので、高校時代に履修した地歴科目としては地理 B を 2 回と世界史の前半部分をやっただけです。自慢じゃないですが、日本史は中学校以降全くやったことがありません。歴史検定の日本史 2 級取得で、通訳案内士の日本歴史試験が免除になるので、センター試験の日本史 B でそれなりの得点が取れるくらいの学力が要求されると思いますが、とにかく知識がゼロだったので、まずは通史を理解すべく、「読むだけですっきりわかる日本史(宝島社)」、「超速！日本史の流れ(ブックマン)」、「超速！日本近現代史の流れ(ブックマン)」を通読しました。これらは、いずれもくだけた語り口調の本です。超速シリーズはうんちく(脱線)が多いので人によって好き嫌いがあるかもしれません。

これらで、通史の概要をつかんだ後に、いよいよハローの「マラソンセミナー日本歴史」、「マラソンセミナー日本歴史(2010 年度受験用別冊テキスト)」、「日本歴史の最重要事項」を読みました(3 回)。マラソンセミナーは、ここかしこに歴史の一コマコマの興味深いエピソード(例えば楠木正成や高橋是清のそれ)がちりばめてあり、史実が淡々と書かれているだけの教科書よりは知識が定着しやすいと思いました。また、数多く掲載されたカラー写真がありがたく、2012 年度の 1 次試験で出題された百済観音、桂離宮、浅井忠「収穫」が大当たりで出題率は何と 6 割！(春日大社は幼稚園の時に見たはずですが残念ながら誤答しました。)

また、マラソンセミナーの参考図書として示されていた「新詳日本史(浜島書店)」も併用しました。写真の豊富さと詳しさの観点からは、受験の定番資料集である詳説日本史図録(山川出版)より良いと思います。更に、通訳案内士合格のカギを握る文化史の理解を補強するために、河合塾の講義を基にした「石川日本史 B 講義の実況中継 5(文化史)(語学春秋社)」も読みました。

これらをやった上で、仕上げとしてマラソンセミナーの巻末問題を解きました。日本地理と同様で、間違ったところは何度も解き直しました。

### (d)一般常識

いちばん漠然として手の付けようのないのが一般常識でした。通訳案内士試験でどこに重点がお

かかれているかを知るために、まずハローの、「マラソンセミナー一般常識」「マラソンセミナー一般常識(2010 年度受験用別冊テキスト)」「一般常識の最重要事項」を読みました(4 回)。扱われている範囲があまりにも広すぎることに驚きました。特に後半の日本の伝統文化、日本と世界の文化交流は知らないことばかりでした。とにかく反復して読みましたが、結構大変でした。(更に、2 次試験の前に話題を膨らませるための背景知識としてこれらを再度読み直しました。)

その後で、マラソンセミナーの巻末問題を解きましたが、難しいのなんの。「数字(年号、パーセントなど)」を埋める問題は正確に覚えておかないと全くダメだということが良く分かり、とにかく間違えた箇所は徹底的に復習しました。

時事情報については、日頃から新聞、ニュースに気を付けておくことが大切だと思いますが、最近の情報の整理として、「朝日キーワード 2013(朝日新聞出版)」に目を通しました。日経新聞からも同様な本が出ています。また、就職試験の参考書の「最新最強の一般常識 13 年版(成美堂出版)」も、知識の整理として活用しました。

以上を一通り学習したのち、1 次試験対策の総仕上げとして 7 月末頃からハローの「通訳案内士試験資料室」からダウンロードさせていただいた過去問(1998 年～2011 年)を、ストップウォッチ片手に解きました。目標は見直し時間を含めて各科目 25 分としました。過去問のストックとしては、以前は通訳案内士試験が終わるたびに JNTO のサイトから試験問題をダウンロードしていましたが、「著作権法により掲載できません」との理由で写真の一部が黒塗りにされ始め、過去問として使えない状態になりました。これは某書院が出版している高い過去問集を買わせるための陰謀かとも思いましたが、ハローの資料室に過去問があったので助かりました。過去問の解答はやはりノートに書き込んで、間違ったところは何度も書き直しました。

これと並行して、第 1 次邦文試験対策(日本地理、日本歴史、一般常識)＜特訓 1800 題＞にもトライしました。1 次試験まで計 20 回挑戦しました。4 択で間違った問題は、別途ノートに書き出して、同じ間違いをしないように努めました。回数を重ねるたびに少しずつではありますが、点数が上がるので自信につながりました。但し、近代史、特に「〇〇内閣の時の出来事で正しくないものを選べ」という問題は最後まで苦手でした。内閣がコロコロ変わると近代は世の中の変化が激しいので、一度腰を据えてやり直す必要性を痛感しています。

1 次試験までに送っていただいたハローのメルマガ ＜第 1 次試験対策直前総まとめ＞ も、ここかしこの知識のほころびを修繕するのに大変役に立ちました。「本日の格言」が良かったです。

### (3) 第 2 次試験対策

8 月 26 日の 1 次試験までは日本地理・日本歴史・一般常識に全精力を傾けていました。それまでの 2 次試験対策としては「日本的英文説明 300 選」も CD を iPod に入れて時々聞いていましたが、試験終了直後に「ありえへん」価格でご提供いただいた「特訓セミナー(1)」、「特訓セミナー(2)」、「特訓セミナー(3)」を申し込み、CD 合計 62 枚分も iPod に入れて、聞き始めました。2 次試験対策はこの特訓セミナーに始まり特訓セミナーに終わったと言っても過言ではありません。

1 つの質問に対して数人の生徒さんが順番に答えますが、講師(Ron 先生)が追加の質問、追加の情報を加えて、繰り返しながらどんどん内容を膨らませて行く進め方は知識の定着という点で有効でした。私はこれを聞きながら更に Wikipedia で背景情報を確認しました。但し 1 つの項目への深入りは禁物だと思います(あくまでも幅広に)。

生徒さんの回答の途中で先生が注意する文法の間違い直し(単数と複数、不定冠詞忘れ、定冠詞忘れ、前置詞忘れ、三単現の s 忘れ、動詞の現在形と過去形、単語のアクセント、等々)は、私もつついちゃってしまう間違いなので、口述練習する際には意識的に正しい文法で話すことを心がけました。また、通訳案内士は単語力の試験ではないので、発音しづらい難しい単語の使用は極力避けて簡単な言い回しを選ぶようにとの講師のアドバイスも実践的でした。

この特訓セミナーの講義内容を聞きながら、それを参考にして「日本的英文説明 300 選」の方も、英文を言いやすいようアレンジし、追記して練習しました・・・と書く簡単なようですが、300 選をパラパラめくってランダムに指さし、その説明をする一人自問自答は四苦八苦の連続でした。思い通りにすらすら英語が出てきません。でも、これは練習するしかないと思い、自己嫌悪に陥りながらも毎日口頭練習を続けました。

また、8 月 29 日から始まった通訳案内士試験第2次試験についてのハローのメルマガも「第2次口述試験のキホンのキ」から「第2次試験の模範解答例」に至るまで大変役に立ちました。特訓セミナーは関連ある分野(伝統芸能とかし料理とか)を続けて聞きながら、練習することになるので、そんな時にいきなり別の分野である(例えば年中行事)を聞かれるとすぐに回答が出て来ない(忘れてる)、といったことが多々起こりますが、メルマガは毎回ジャンル異なる質問がまとめて出ているので、偏った頭にしない効果がありました。

11 月 25 日に参加させていただきました東京八重洲での第2次口述試験対策特別講習会や、直前にいただいた、ジャンル別予想問題最終チェックリストは非常に役に立ちました。試験官の質問への回答を知らない場合の逃げ方なんて、1 人で考えても絶対に分かりっこありませんから。

#### (4)ハローについて

とにかく、ハローなくして、植山先生の力強い後押しなくして通訳案内士の合格はあり得ませんでした。とにかく、合格のために何をすべきかで悩み試行錯誤することなく、マラソンセミナーと特訓セミナーに全精力を傾ければ良いわけですから。これまで通訳案内士登録者全 15,371 人の約 59%を輩出したという凄まじい戦歴は至極当然のことだと思います。その高い指導レベルを維持し続けて来られた植山先生及び歴代の講師の先生方に深く敬意を表したいと存じます。

こんなに多くのテキストをタダで、また CD/DVD を本当に「ありえへん」価格でご提供いただき、感謝の言葉もございません。私のように勤務終了時間が不規則で補習校に通うこともできない者にとって、ハローは正に独学挑戦者の守護神です。このような環境を作っていただいたので、後は本人のやる気次第。合格することが唯一の恩返しと考えておりましたので、薄氷の合格ながらご支援いただいた植山先生の期待に沿えたのではないかと思います。本当にありがとうございました。

#### (5) 今後の抱負

99.99%落ちることを覚悟していましたので、正月返上で再度特訓セミナーを聞きながら、それを基にして自分用にアレンジした資料集を作ってきました。合格したと言っても今のレベルでは話にならないと思いますので、当分は地力を上げることに全力を注ぎます。資料集の増補作業はずーっと続けます。必ずや今後の役に立つと思います。(デビューは実力と状況を見ながらでしょうか・・・)あと足りないのは、有名観光地の観光ポイントの知識です。大学の時に 6 年間京都に住んでいて、どこに何があるかはほぼ分かるのですが、「いつでも行ける」と思って、観光客が行きそうなスポットがところどころ抜けています(例えば三十三間堂)。奈良にも時々行っていましたが、似たような状

況です。知人の京都マニアが京都検定 2 級を取ったので、彼を見習って京都検定と奈良検定の公式テキストを購入しました。ちょっとずつ勉強しようと思います。

通訳案内士として英語のレベルを常に向上させることは当然です。これは一生続けますが、実は今「日中研究協力」に係る仕事も行っています。会議自体は英語で行っていますが、中国語も勉強しています。英語に比べるとまだまだのレベルですが、2 つ目の言語として再度通訳案内士試験に挑戦しようと思います(目標は 3 年以内と言いたいところですが・・・頑張ります)。

今後ともパワーアップ、挑戦を続けて行きたいと思います。不肖の生徒ではありますが、今後ともなにとぞご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

## ●＜英語・東京・メルマガ読者＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

以前中国語で合格し、また数年前英検 1 級も合格しましたので、筆記試験全部免除を受けられ、負担が少なく長年受けたかった英語試験を受けられるためでした。

現在会社員をしており、すぐカイドになるより、英語の勉強、特に会話力をブラッシュアップするため、受験しました。試験は 2 次試験のみでした。

### (2)第1次試験対策

全科目免除したので、今回ありませんでした。但し、以前中国語試験のため、2002 年の秋からハローの3次対策を受けるようになり、そのまま 1 年コースで英語を勉強しながら、中国語の邦文試験を勉強していました。

中国育ちの私にとって、邦文試験は非常に難しく、すべて新しい知識でしたので、結果的に 2 年間かかり3回目の試験でようやく完全合格しました。

英語に関して、中国語の邦文試験を勉強しながら、ハローの年間コースを 2 年間通学で勉強しました。その勉強のおかげで、その後 TOEIC900 点以上取得し、続いて英検 1 級も合格しました。当時の教材は今でも大事に保管しており、長時間勉強は大変でしたが、先生たちは面白く英語や邦文を教えていたので、授業は非常に楽しく受けていました。

### (3)第2次試験対策

今回は初めての 2 次試験で、9 月頃から 300 選を毎日電車で聞くようにし、英語をスムーズに会話できるように週 1 回英会話教室でネイティブ先生と世間話をしていました。直前に週 2、3 回英会話に行ってお口の英語筋肉を鍛えていました。そして、試験 2 週間前に東京駅で植山先生の直前対策セミナーに参加し、これは合格の決め手でした。

セミナーでは、面接時はスーツで行くことや「秘めた闘志」で試験前はあまり周囲に言わないことなど必殺技を教えていただき、非常に印象的でした。会場で 2 次試験特訓セミナーの CD(72 時間?)をすべて購入し、その後の 2 週間弱の間、フルタイムで働く主婦ですが、頑張っ 50 時間ほど聞いていました。全部が聞き終わらなかったですが、頭がおかしくなるほど聞いていました。

試験の出来はあまり満足できるものではなかったのですが、とりあえずすべての質問に途切れなく答えられたのはよかったです。

合格者のうち、今回は合格者を増やすため 2 次試験の合格率が高かったとか、試験管が甘かったなどの投稿がありましたが、今回の合格率は 13.3%、うち英検 1 級保有者の合格率でも 8 割程度のようなので、決して簡単な試験ではなかったと個人的に思います。

### (4)ハローについて

通学、教材およびメルマガで長年大変お世話になりました。これからもメルマガを引き続き読ませていただきます。ハローで多くのことを学びました。植山先生に心より感謝を申し上げます。

### (5)今後の抱負

英語の難関試験には合格しましたが、実際まだまだ英語ができるとは胸張って人に言えるとは思

っていません。おそらく一生勉強しなければなりません。  
現在会社員しているため、今後とりあえずもっとビジネス英語を深めたいと思っております。

## ●＜英語・仙台・旧生徒＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

現在 44 歳になりますが、通訳案内士(通訳ガイド)の資格は 20 歳(当時英語の専門学校生)くらいから知っていました。しかしその頃は、ろくな勉強もせず、遊んでばかりいたので自分には到底むりだと思っていました。

それから 24 年が経ちましたが、その間海外留学(アメリカ滞在11年)もし、2年前に日本に戻ってきました。日本に戻ってから TOEIC やら英検1級に挑戦し、幸運にも合格しました。

そんな時に通訳案内士の英語試験免除の事をメルマガで知り、試験を受ける決心をしました。

そして今回何とか合格出来た次第です。 思えば通訳案内士の事はずっと心の隅にあったと思います。海外に居た時もハローのメルマガだけはファイルにセーブしています。(2,000 通くらいあります。(笑))

本当に自分が受かったとは信じられません。今、私が思うのは諦めずに勉強すれば、道は開けるという事です。私の経験が、これから試験を受ける人の為に役立てば幸いです。

皆さんも頑張ってください。

### (2)第1次試験対策

英語は一次試験免除だったので参考になる事は言えませんが、とにかく、ハローのメルマガの資料をやりまくる！私は半年位前から地理、歴史、一般常識の問題を暇さえあればやっていました。特にハローから送られてくるメルマガの問題を一日最低 2 時間 3 ヶ月から 4 ヶ月みっちりやりました。そして植山先生がまとめてくれた最重要ポイント(地理、歴史、一般常識)を何度も何度も見直しました。後は色々な試験対策本やホームページを見つけて参考資料にする。

### (3)第2次試験対策

これもハローの 2 次試験対策の資料を自分の言葉に書き換えて、何度も何度も読みました(よく出そうな質問の答え 60 パターン作りました)奥さんに面接官の役をしてもらい何度も実際の試験のシミュレーションをしました。2 次試験の感想ですが、終わってみて以外に簡単だったように思います。(合格したから言える事です)

質問の内容も大まかであまり具体的でなく、何か受かりやすいようにしているようにも感じました。とにかく出来るだけ緊張せずに面接を楽しむつもりで臨むのが一番でないかと思います。

### (4)ハローについて

植山先生の試験対策資料は非常に良くまとまっており、ハローの資料のおかげで合格したと言っても過言ではありません。特に1次と2次試験の直前に作っていただいた、超重要参考事項はめちゃくちゃ役に立ちました。

### (5)今後の抱負

通訳案内士を取り巻く業界は非常に厳しく、これを本業にする事は大変難しいと聞いています。最初はアルバイトでもいいのでまず実際に働いてみて、ガイド業がどんなものか経験したいと思います。折角取った資格なので、何とか生かしていくよう努力するつもりです。この資格を取った事によって、通訳、翻訳、英語講師と新たな道が開けるよう頑張ります。

## ●＜中国語・札幌・旧生徒＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

留学をした後、はじめは語学のレベル指標として。その後、某大手旅行会社の添乗員として勤務した際、ガイドした経験あり、ちゃんと資格を持ったガイドになりたかったのだ。

### (2)第1次試験対策

以前ハローで購入したテキストを中心に勉強、過去問も繰り返し見直しました。苦手な一般常識は特に力を入れました。試験に取り上げられそうなニュースネタは新聞を切り抜き、数値ネタは、つねに新しいデータに更新しました。暇を見てはハローの＜特訓 1800 題＞を繰り返しやりました。語学分野は”通訳ガイド問題集”や”中国語で日本を紹介する”系の本を購入し、NHK World Chinese を毎日確認。過去問などを参考に時事用語の中国語を勉強しました。

### (3)第2次試験対策

1次試験結果を待ってからの準備では絶対に間に合わないと思ったので、終了後からすぐに準備に入りました。特に植山先生のまとめてくれた過去問は大変参考になりました！！英語の問題は、ひたすら中国語に直すようにしました。仕事場でネイティブが出社している時には出来る限り話しかけ、とにかく中国語で考え話すようにしました。ペリーや開国などの歴史分野などは、ネイティブの先生にチェックしてもらい、できるだけ自然な表現になるよう心がけました。1か月前からは仕事が終わったらまっすぐ家に帰り、繰り返し中国語でつぶやく日々でした。

### (4)ハローについて

いままでの歴史や過去の実績があるのが本当に頼りになりました。さまざまなデータの分析や豊富な情報量は他ではかなわないと思います。くじけそうになったときは、メルマガでの植山先生の励ましがとても心強かったです。中国語の”謀事在人，成事在天”「人事を尽くして、天命を待つ」の気持で最後までやりぬきました。

### (5)今後の抱負

資格が取れたからと言って満足して終わらないよう勉強し続けたいです。実際、資格があっても現場で使えないガイドが多いという話も聞いています。名前だけの資格保持者で実力がない・・・ではせっかく取れた資格が泣きます。通訳案内士の資格に見合う能力を身につけていきたいです。

## ●＜中国語・東京・旧生徒＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

1992年に英語のガイド資格を取得した時に、「もう1言語を習得すべき」とのアドバイスをいただき、たまたま当時興味のあった中国語を選択しました。

### (2)第1次試験対策

英語での資格を取得していたので、語学以外の一次試験は免除でした。語学の試験対策としては、大阪の通訳養成学校で勉強した資料や、過去問を研究したり、通訳案内士以外の資格(中国語検定、HSK)取得の為の勉強を続けたりして、自分の実力を上げるように努めました。

### (3)第2次試験対策

中国語での日本語を説明する文章を暗記したり、予想問題を作って暗記したり、かなりの時間を暗記と面接練習にかけました。試験2週間前に、ある方に「二次試験は適性と熱意をみているから、うまく答える事に気を取られて笑顔が無いと落ちます。一次試験で貴女の語学力は証明済みです。中国語の問題は、まともに答えるのが難しいぐらいの問題がほとんどだから、そんなに気にしなくて大丈夫。中国語がダメと思ったら日本語の部分で、思いの丈をぶつけるつもりで頑張ったら必ず通ります。」

過去に3回、二次試験で落ちていた私は「目から鱗」状態でした。そうか、まさしく「メラビアンの法則」。(第1印象の場合、初対面の相手があなたの話す内容であなたの事を判断する割合は7%に過ぎない)就職の面接試験を語る場合の王道を、私は語る立場(教師)にありながら、忘れていたのです。

結果、どんなガイドになりたいですか?の質問に対して、(1)お客様の国や言語に対して、敬意を払う意味で美しい、しっかりした中国語を話したい。(2)お客様が頼る相手は私しかいないので、どんなアクシデントがあっても逃げずに、誠心誠意お客様に尽くしたい。と終始笑顔で誠実に答えて、無事合格する事が出来ました。「北風と太陽」ってあるんだな～ってしみじみ思いました。

### (4)ハローについて

英語のガイド資格を取得する際には、大変お世話になりました。ガイド資格を取得した事がきっかけで、主婦の私も再就職でき、新しいスタートが切れました。勉強と努力は報われる。という経験は、その後の私の人生に大きな影響を与えたと思います。

残念ながら、ハローはなくなりましたが、植山先生の熱心なご指導は志を同じくする人達にとって大きなサポートだと思います。

### (5)今後の抱負

語学は怠るとあっという間に「話せます」から「話せました」に変わってしまいます。現在の仕事との兼ね合いを図りながら、中国語の勉強を続けて通訳案内士としてのお仕事を始めたいと思っています。

## ●＜韓国語・仙台・メルマガ読者＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

これまで 10 年近く通訳の仕事をしてきました。具体的には、本業は別でたまに呼ばれて通訳と翻訳のアルバイトをしましたが語学能力が上がっても何時間働いても決まって 1 日1万円という待遇には納得いきませんでした。

僕は関西に10年、東北に4年すみましたが料金は同じで16 時間とか働く時があります。通訳なんかいくらでもあるんだから金と休憩はやらないって感じです。これは日本人の悪い癖かも知れませんが、あまりにも酷いので、昨年 1 月からこれはいかんといい始めましたことが受験の動機です。

### (2)第1次試験対策

市販の通訳案内士の問題集、中学の地理の参考書、高校の歴史参考書、インターネット NHK 高校歴史講座、テレビの NHK の E テレさかのぼり歴史で始めて、ハローの DVD と本を手に入れて勉強しました。仕事の時も休憩時には、日本人と互いに問題を出し合うなどして勉強しました。これを7カ月間休まず続けました。

### (3)第2次試験対策

地デジと BS の旅番組、歴史番組を毎日みました。

### (4)ハローについて

DVD と本をお安く販売していただいて大変助かりました。メルマガでも情報を提供していただき感謝します。

### (5)今後の抱負

ハローの学院長のお話通りに通訳案内士の地位向上のために頑張りたいです。秋田にはなかなか通訳ガイドの仕事がなく活躍できる場が限られています。東北に来る韓国人に通訳案内士として正しい日本を伝えたいです。

## ●＜スペイン語・東京・メルマガ読者＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

仕事でスペイン語を専門としておりますが、駐在の国から戻り 10 年近く経ち、語学力が錆びついてきたので、勉強の指針(目標)として受験を決意致しました。

### (2)第1次試験対策

先ず、そもそも私は二度目の受験で合格しました。先ず、一度目は、一昨年、6 月から勉強を始めたので実質3日月程の準備期間しかありませんでした。とりあえず受けてみようという試し受験で受けました。ただその3カ月間は、ハローのサイトを見て、過去問を分析しました。

語学に関しては、先生が作成されている予想問題等を自分の語学のみならず英語も見つつ、勉強。特に落としてはいけない単語や作文については様々な角度から検討して勉強しました。

一般教養に関しては、ハローの問題集をざっとやりました。6 月頃に出る公務員試験用の「直前対策ブック」も使えるのではと思います。

地理に関しては、その前年度に家内が合格した際に使用していたハローの DVD を 2 回ほど繰り返し勉強しました。

日本史に関しては、1 年目、唯一の不合格科目でしたが、2 年目には、やはりハローのテキスト、山川出版から出ている写真集、教科書他を繰り返しました。

総じてどの科目にも言えることですが、この試験は難問、奇問というのは出ませんので、傾向を掴むと、後はするするっと分ってくると思います。私の場合、2 年目の日本史に関しては大学受験も世界史でしたので、初めて本気で勉強しましたが、最後は傾向をほぼ掴んだため、自信を持って試験に臨みました。すらすら解けたので楽しかったです。

### (3)第2次試験対策

2 年目の日本史の試験の結果は自己採点で73点でしたので、試験終了後、直ぐに近くの語学学校へ通い始めました。週に一度 40 分から1時間程、スペイン人の先生に、自分がハローの予想問題(英語)をスペイン語にたおした文章を添削してもらったり、先生に傾向を伝えて予想してもらったりしました。二次試験直前まででしたのでおよそ3カ月といったところでしょうか。本番では、①日本で最も暑い場所と寒い場所について、②花火を見るならどこがお勧めか、③仏教と神道の違いの三つでした。正直、簡単な問題だったのでラッキーとしか言えませんが、特に③については、直前まで自分で詰めていた問題でしたので、延々としゃべりました。

終わった後は、「しゃべり倒した」というのが感想ですが、後々良く考えると文法、単語等、間違っていたなあと思う点も幾つかあり、まあ、あれだけしゃべり倒して落ちたら仕方ないか、という感じで結果を待ちました。ポイントとしては、やはり①黙らない、②にこにこしながら一生懸命応える、という点を重視しました。柄にもなく、本番は緊張しましたが、試験官がこちらのお話を一生懸命聞いて下さったり、こちらが発音しにくい単語を、一緒になって繰り返してくれたり、「あ、なんか聞いていた厳しい試験官とは違う」と思った次第です。結果として、少くく、間違いたりしても大丈夫ということも分りましたが、とにかく、一生懸命というイメージが通訳案内士は大切だと思いますので、試験でも右を心がけた次第です。試験官の目をしっかりみて、とか、落ち着いてとかいったことは、私自身特にしませんでした。繰り返しますが、「一生懸命」が大切です。

#### (4)ハローについて

植山先生には夫婦ともども、大変お世話になり、この場をお借りし感謝申し上げます。どうも有難うございました。

#### (5)今後の抱負

自分は職業柄、通訳案内士を今の時点ではやっていくことはできませんが、この試験を通じて得たことは大切なことばかりと思いました。将来的にはいつか家内ともども二人で通訳案内士として、活躍できればと思っております。また、合格体験記をブログにて作成していきたいと思っております。

## ●＜スペイン語・東京・旧生徒＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

一昨年、長く勤めた会社を定年退職したので、次はこれまでの経験を活かし、且つ組織に縛られない仕事に就ければと考えていました。その意味で、スペイン語圏の数ヶ国に長く暮らし、また日本国内でも東京のほか、北海道から沖縄に到る幾つかの場所に住んだ事もあり、旅の好きな私には通訳案内士が向いているかも知れないと思ったのがそもそもの受験動機です。

### (2)第1次試験対策

スペイン語は、書店で求めた過去問題集を順に解いていくと共に、ハローの「日本の事象英文説明 300 選」とメルマガでお送り戴いた英語の過去問をスペイン語に直して学習しました。日本地理・歴史・一般常識も同様に過去問題集の他、ハローのメルマガによる資料をフルに活用させて戴きました。併行して図書館にも通い、関連図書で疑問点、あいまいな点を確認しました。

### (3)第2次試験対策

上記「日本の事象英文説明 300 選」をスペイン語に訳したものと、ハローのメルマガでお送り戴いた資料をスペイン語に直したものをベースに、自分流の台本を纏めてこれを覚えるように努めました。

### (4)ハローについて

書店で過去問題集や英語で日本の文化を説明した本等を求めて学習を始めたものの、余りにも対象範囲が広くて、勉強の的をどう絞ったらよいか皆目判らず自分の遣り方に不安を感じていた時、インターネットでハロー通訳アカデミーの事を知りました。

その後、メルマガを通じて1次・2次夫々の試験の直前まで貴重な情報をご提供戴き、更には2次試験の前の特別講習会、果ては試験結果の確認の仕方に到るまで、懇切丁寧なご指導と激励を賜り、何とか合格することができました。振り返ってみて、ハローのご支援無くしてはここまで辿り着けなかつたらうと思います。誠に有難うございました。この機会に改めて心から御礼を申し上げます。

### (5)今後の抱負

外国に長らく暮らす間、どの国でも現地の多くの人たちから良くして貰い、またあちこちを旅行した時、限られた時間の中で、現地のガイドの人たちから勘所を押さえた案内をして貰い沢山の素晴らしい思い出が出来ました。一方、外から見て日本の良さも(酷い部分と共に)再認識できましたので、今度は私の方が、外国から来られる方々に対して、日本の良い点をご紹介して、日本での滞在を楽しんで戴き、良き思い出作りのお手伝い出来るようなガイドになる事を目指したいと思えます。

## ●＜フランス語・東京・メルマガ読者＞

### (1)はじめに(受験の動機など)

私は海外旅行の添乗員でした。世界の国々の歴史や文化などを学びそれをお客様に伝え案内しながら、学ぶことの楽しさを知りました。5年前、その大好きだった仕事を結婚を機に辞めました。国内にいながらにしてその時の私が出来る仕事と言えば、旅行会社の内勤位でした。仕事をしながら文化的なことを学ぶという楽しさを一度知ってしまった私にとって、旅行会社の内勤はもはや夢中になって出来る仕事ではなくなっていました。それよりは、添乗の仕事をしていた時には出来なかったフランス語の勉強をしよう！と思い、仕事を辞めてからは専業主婦をしながら複数のフランス語の学校に通って勉強をするようになりました。

2年前に仏検の準一級を取得。その時、クラスメートに通訳案内士の試験も受けるように勧められました。最初は自分には無理と思いダメモトで受けたのですが、フランス語は一回で合格！日本史のみ落としてしまい、去年の1月から8月の一次まで必死で日本史を勉強しました。

日仏学院で知り合ったクラスメートの皆さんには、受験を勧めて頂いたり、ハローのメルマガの存在を教えて頂いたり、教材や勉強の仕方アドバイスや精神的サポートをして頂き、本当に感謝しています！

### (2)第1次試験対策

#### ①外国語試験

前年度合格のため、免除。前年には時間がなく、3年分の過去問を解いたのみで挑戦。

#### ②地理

一般旅行業務取扱主任者を取得していたため、免除。

#### ③歴史

中学生用・高校生用の日本史教科書を合計10回通読。資料集を毎日パラパラ眺める。過去問を解き、過去問に出てきた全ての用語を日本史用語集で調べる。大学受験用の文化史について書かれた本の重要ポイント書き写し。ハローのDVD教材を3回聴講。

#### ④一般常識

前年度合格のため、免除。前年にはハローの第1次邦文試験対策を一通りやりました。

### (3)第2次試験対策

フランス語版日本のガイドブックを通読。日本の世界遺産と日本史の流れ、ハローの100問を説明できるようにし、ネイティブの先生にもマンツーマンで計9時間みてもらいました。ハローの二次対策講習会への参加。

### (4)ハローについて

メルマガ、テキスト、DVD、二次対策講習会でお世話になりました。本当に有難うございます！！

### (5)今後の抱負

まずはもっとフランス語を磨き、日本の歴史や文化に関する知識を深めて良いガイドとしてデビュー出来る様、準備します！

## ●＜ドイツ語・東京・メルマガ読者＞

### (1)はじめに(受験の動機など):

プライベートの講習会などで、些少なから通訳として報酬を貰う事が多くなり、ちゃんとした資格を取りたいと思ったため

### (2)第1次試験対策

邦文試験対策は中学生用の歴史、地理、政治・経済の本を読み、後はネットで写真を見て覚えしました。準備不足も甚だしく、何故合格できたかわかりません。ドイツ語は、一応帰国女子ですが、過去問を何度もやりました。手強かった過去問に比べ、今年のドイツ語はかなり易しかったです。今年の独検一級も取りましたが、それより簡単なほどでした。

### (3)第2次試験対策

一次試験の後にこのメルマガを見て、ドイツ語の予想問題はとりあえず答えられるようにしました。言い訳ですが、仕事が忙しく、100選とかを覚える時間がなく、結局本番では想定外の質問ばかりで、その場勝負となりました。

もう遅いかもしれませんが、受験レポートを別にご書きます。過去の受験レポートはとても参考になったのですが、自分は多分落ちたと思ったのでレポート提出する勇気がありませんでした。

### (4)ハローについて

一次試験後に、植山先生のメルマガを知り、これを一次の前に読んでいれば良かった、と痛感しました。情報の少ないこの試験について、これほど受験者の立場に立って情報を提供して下さる植山先生のおかげで、どれほどの受験者が助かっているのかわからない、と思いました。二次が終わった帰り道に、試験場で隣だった見ず知らずの方に話しかけて、お茶をご一緒させて頂きました。そのお店で、その後受験される方とも知り合い、3人でお互い名前もわからないまま、試験の話に花が咲いたのですが、そのお二人ともハローの教材で勉強した、と言っておられました。

### (5)今後の抱負

まだ何も考えていませんが、今までこんなズブの素人が通訳して良いのか、といつも後ろめたく思っていたのが、少し自信がついて、この先頑張ろうという勇気が湧いてきました。本当に有難うございました。

## ●<ポルトガル語・東京・旧生徒>

### (1)はじめに(受験の動機など)

すでにスペイン語で通訳案内士の資格をもっていました。仕事でブラジル人に接する機会があり、ポルトガル語も挑戦してみようと思いました。

### (2)第1次試験対策

2011年に合格しておりました。その際は、ポルトガル語を独学で一から勉強しましたが、よい教材もなく、結局、過去問を中心に、スペイン語受験時の資料を自分で訳し、勉強しました。まさに、手探り状態でした。

### (3)第2次試験対策

2011年は残念ながら、力及ばず、不合格の憂き目にあいました。しかし、今、思えば、まさか一次試験に合格するとは思っておらず、二次対策は、11月に入ってから始めたというお粗末さでした。そして、2012年は一念奮起して、話すことに重点をおいて勉強をしました。特に、9月からは、ハローからメールで送られてくる「2次試験の模範解答例」や「予想問題」を自分で訳し、手直しを加えて、ネイティブの先生に相手になってもらい、練習をしました。直前になってからは、「ジャンル別予想問題リスト」を徹底的に言えるように訓練しました。二次試験本番では、予想問題がでなかったのですが、予想問題で徹底的に仕上げていたもので、違うことを聞かれても、落ち着いて答えることができました。

### (4)ハローについて

ハローのメルマガなしに、この合格はあり得ませんでした。特に、直前にいただいた資料の数々、そして、動画で拝見した先生のアドバイスのおかげで、当日落ち着いて自信をもって受験することができました。先生のおっしゃる通り、二次での沈黙は厳禁です。間違っていようと、わからなくても自信をもって、答えることが大切です。